

2022年3月期第2四半期 決算説明資料

2021年11月5日

技術のジャムコは、 士魂の気概をもって

- 一、夢の実現にむけて挑戦しつづけます。
- 一、お客様の喜びと社員の幸せを求めていきます。
- 一、自然との共生をはかり、豊かな社会づくりに貢献します。

- この資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来に関する見通しであり、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度に関するさまざまなリスクや不確実な要素を含んでおります。実際の業績はこれらの見通しとは異なる結果があり得ることをご承知おきください。
- この資料における数値について、記載金額は、表示桁未満を切捨てしており、増減率(%)は、表示桁未満を四捨五入して作成、表示しております。
- 本資料を(株)ジャムコの許可無く転載・複製することを禁じます。又、本資料を使用することにより生じたいかなる損害について(株)ジャムコは一切責任を負いません。

2022年3月期 第2四半期決算の状況

- 03 | グループ連結P/L
- 04 | 連結経常利益の前年同期比差異要因
- 05 | セグメント別 売上高・経常利益-①(前年同期比)
- 06 | セグメント別 売上高・経常利益-②(前年同期比)
- 07 | グループ連結B/S
- 08 | グループ連結C/F
- 09 | グループ各社の状況 (2022年3月期/上期)
- 10 | 通期見通し

グループ連結P/L



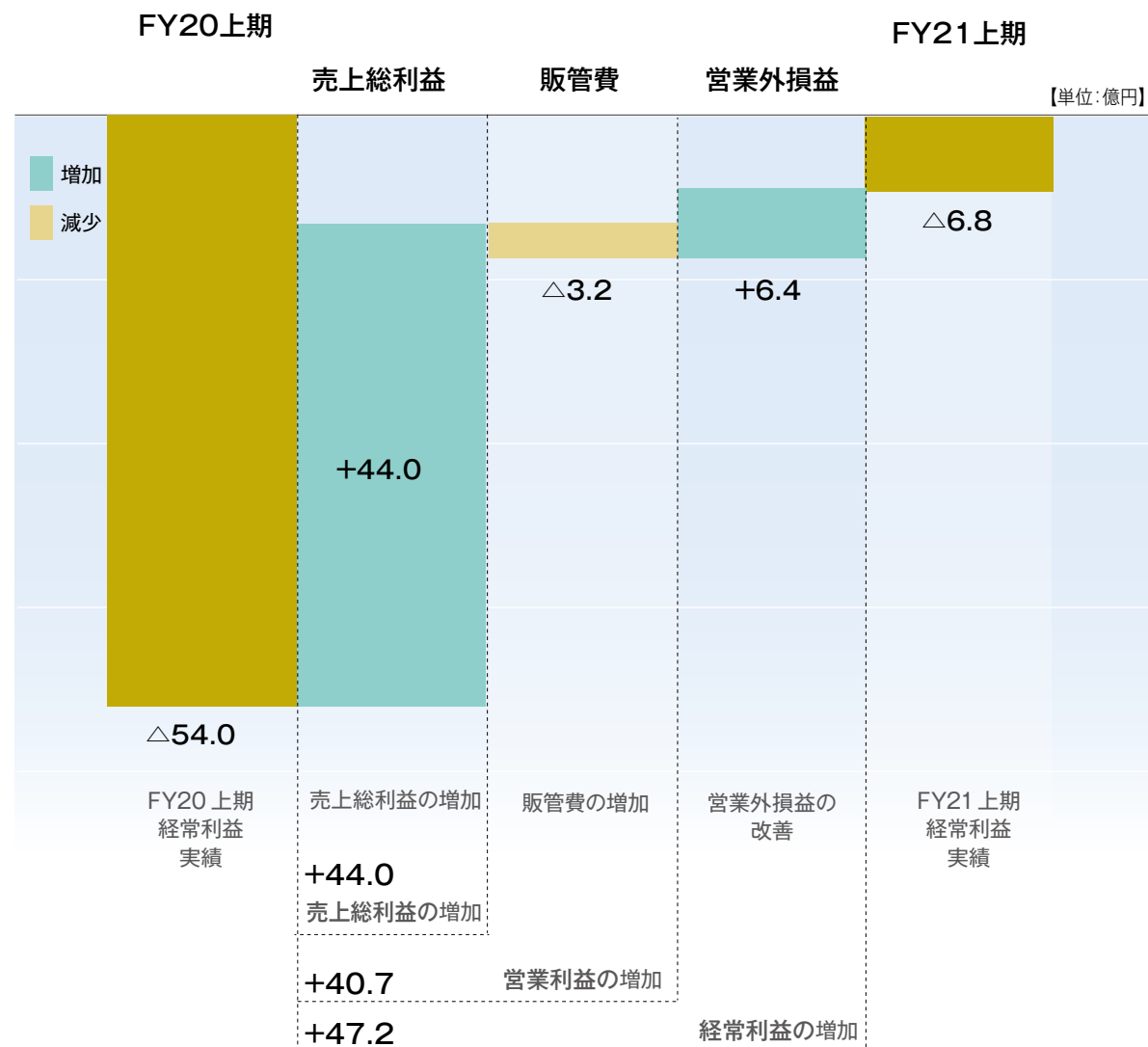
【単位:百万円】

	FY20上期 (実績)	FY21上期 (実績)	前年同期比 (増減)
売上高	25,860	18,477	△ 7,382
売上総利益	△ 1,264	3,139	4,404
販管費	3,326	3,651	324
営業利益	△ 4,591	△ 511	4,079
営業外損益	△ 818	△ 175	642
経常利益	△ 5,409	△ 687	4,722
特別損益	△ 640	300	940
税金等調整前 当期純利益	△ 6,050	△ 387	5,663
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 4,294	△ 47	4,247
1株当たり四半期純利益 (円)	△ 160.10	△ 1.76	—
売上為替レート (円/USドル)	107.52	109.16	—

連結経常利益の前年同期比差異要因



■ 前年同期比 +47.2億円



- Point**
- 売上総利益**
 - 顧客仕様変更に伴う追加売上が第1四半期連結会計期間に集中したことや、為替レートが想定より円安で推移したことなどによるもの
 - 販管費**
 - 試験研究費の増加 △4.2億円
 - 保証工事費の減少 +0.4億円
 - 人件費の減少 +0.3億円
 - 販売手数料の減少 +0.1億円
 - その他 +0.2億円
 - 営業外損益**
 - 為替差損益の改善 +5.8億円
 - 支払補償費の減少 +0.4億円
 - その他 +0.2億円

セグメント別 売上高・経常利益-① (前年同期比)



【単位:百万円】

	売上高			経常利益		
	FY20上期 (実績)	FY21上期 (実績)	前年同期比 (増減)	FY20上期 (実績)	FY21上期 (実績)	前年同期比 (増減)
航空機内装品	17,928	11,890	△ 6,038	△ 3,455	851	4,306
航空機シート	3,652	913	△ 2,739	△ 1,791	△ 1,390	401
航空機器製造	1,731	1,943	212	△ 102	△ 247	△ 144
航空機整備	2,547	3,730	1,182	△ 60	113	174
その他	0	0	0	0	△ 14	△ 15
合計	25,860	18,477	△ 7,382	△ 5,409	△ 687	4,722

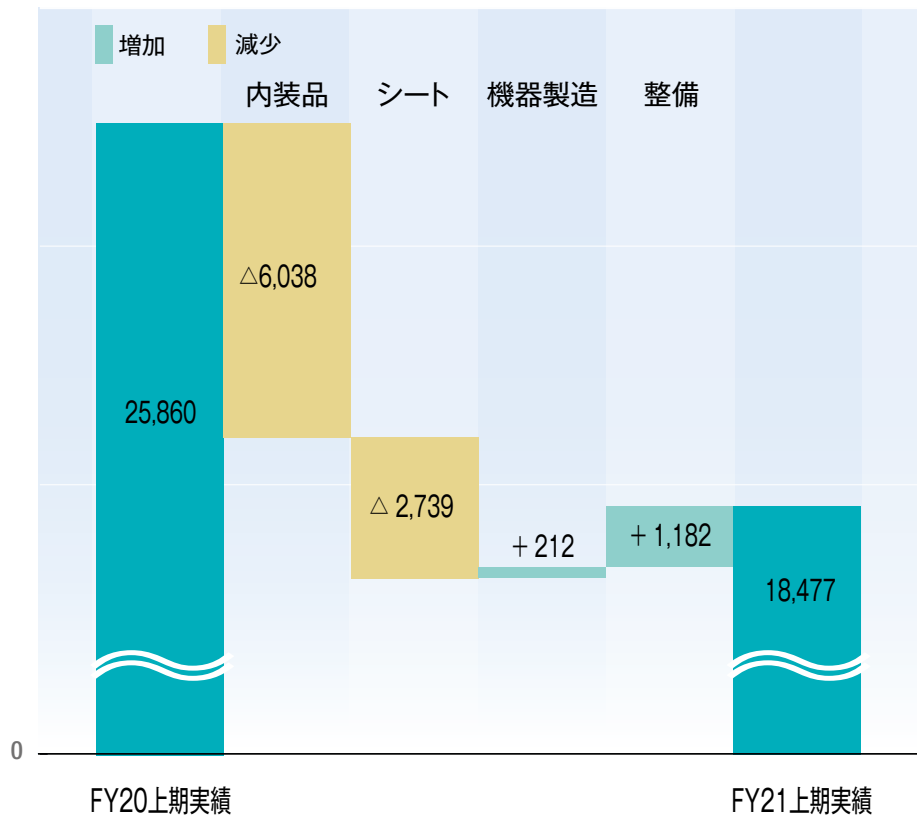
(注)「その他」はオレンジジャムコの事業を含んでおります。

セグメント別 売上高・経常利益-② (前年同期比)



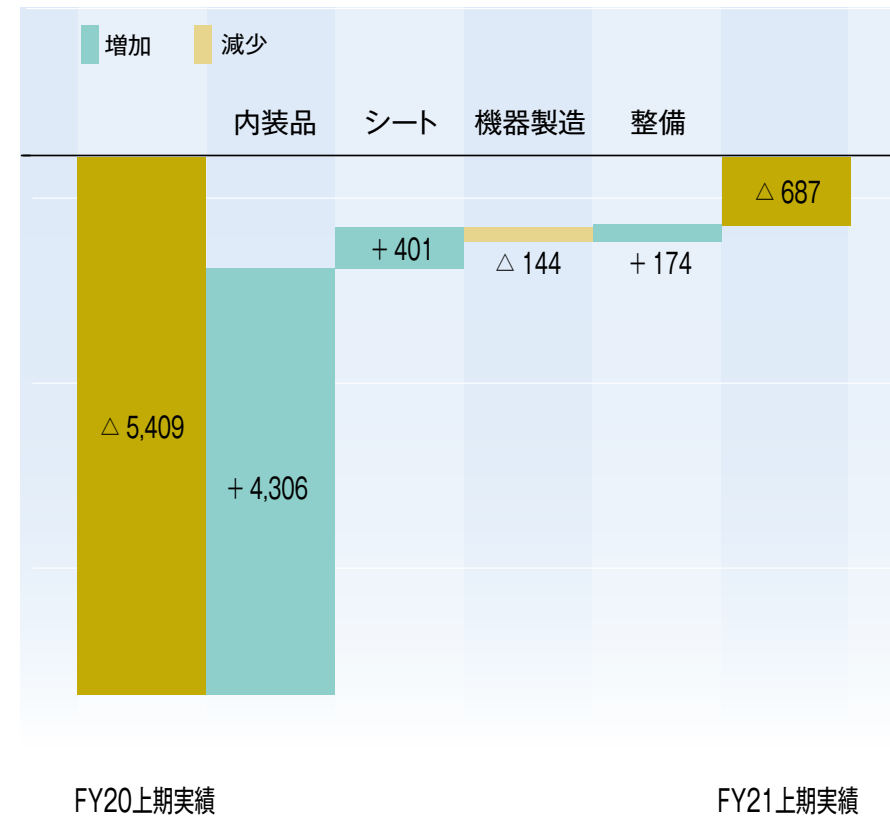
売上高

【単位:百万円】



経常利益

【単位:百万円】



Point

- 内装品は感染症拡大による影響等で航空メーカーは更なる減産や生産スケジュール変更を余儀なくされたことから、ギャレー及びラバトリーの出荷が減少
- シートは感染症拡大による影響等で顧客による納期変更などにより、売上高減少
- 機器製造は民間航空機向け製品の炭素繊維構造部材や航空機エンジン部品の出荷が増加
- 整備は機体整備において一部プログラムの完成工事が増加

Point

- 内装品は原価低減策の効果や一部プログラムにおいて顧客仕様変更に伴う追加売上などの影響、又、為替差益の発生により改善
- シートは原価低減策の効果や採算性の悪い特注品の出荷が減少し改善
- 機器製造は採算性の良い製品の出荷が減少したことなどにより悪化
- 整備は売上高増加などにより改善

グループ連結B/S



【単位:百万円】

科目	FY20末 2021年3月31日現在	FY21 2Q末 2021年9月30日現在	増減
〈資産の部〉			
流動資産			
現金及び預金	5,275	9,273	3,998
受取手形及び売掛金	21,092	18,038	△ 3,054
棚卸資産	47,408	41,750	△ 5,658
その他流動資産	3,156	2,783	△ 372
流動資産合計	76,932	71,845	△ 5,087
固定資産			
有形固定資産	12,782	12,484	△ 298
無形固定資産	1,692	1,440	△ 251
投資その他の資産	9,829	10,128	299
固定資産合計	24,303	24,053	△ 250
資産合計	101,236	95,899	△ 5,337

科目	FY20末 2021年3月31日現在	FY21 2Q末 2021年9月30日現在	増減
〈負債の部〉			
流動負債			
支払手形及び買掛金	3,726	4,061	335
電子記録債務	3,482	2,481	△ 1,000
短期借入金	48,118	46,869	△ 1,248
1年内返済予定の長期借入金	1,000	660	△ 340
前受金	5,516	5,390	△ 126
工事損失引当金	4,102	3,720	△ 381
その他流動負債	5,426	5,390	△ 35
流動負債合計	71,373	68,575	△ 2,798
固定負債			
長期借入金	3,000	2,640	△ 360
その他固定負債	10,346	9,759	△ 587
固定負債合計	13,346	12,399	△ 947
負債合計	84,719	80,974	△ 3,745
〈純資産の部〉			
純資産合計	16,517	14,925	△ 1,592
負債及び純資産合計	101,236	95,899	△ 5,337

Point

- 受取手形及び売掛金は、売上高減少と売掛金の回収により減少
- 棚卸資産は、発注計画の見直しにより減少

- 自己資本比率 16.0% →15.2%
- 純資産合計は、収益認識会計基準等の適用により減少

【単位:百万円】

	FY20上期	FY21上期
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,809	6,545
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 728	△ 113
フリー・キャッシュ・フロー	△ 8,537	6,432
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,219	△ 2,290
現金及び現金同等物の増減	△ 1,456	4,207
現金及び現金同等物の期末残高	5,710	8,154

Point

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、売掛金の回収によりキャッシュインフロー

グループ各社の状況



【単位:百万円】

	当社	新潟 ジャムコ	宮崎 ジャムコ	中条 ジャムコ	ジャムコ アメリカ	ジャムコ エアロデザイン エンジニアリング	ジャムコ シンガポール	ジャムコ フィリピン	ジャムコ エアロ マニュファク チャリング	徳島 ジャムコ	ジャムコ エアロテック	オレンジ ジャムコ
売上高	17,272	679	380	226	2,382	256	0	196	331	379	197	32
営業利益	254	△ 285	△ 64	△ 54	△ 492	△ 21	△ 62	18	△ 74	41	19	△ 14
経常利益	170	△ 277	△ 69	△ 55	△ 549	△ 17	△ 65	15	△ 74	41	19	△ 13
当期純利益	298	△ 224	△ 49	△ 47	△ 161	7	△ 61	11	△ 49	26	11	△ 9

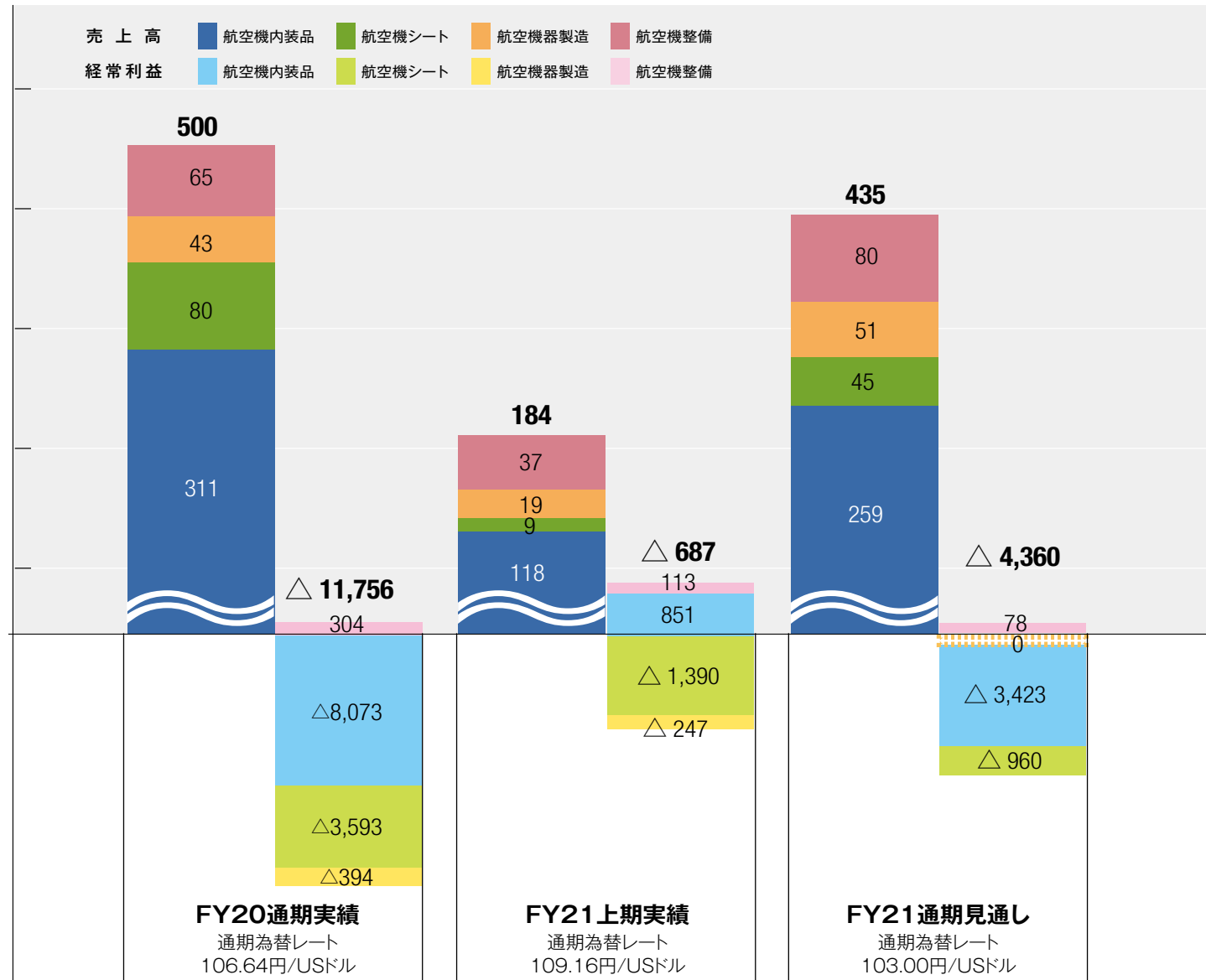
(注1) ジャムコシンガポールは、今後の安定的な生産の見通しが立たないことから、会社清算(解散日は2021年1月31日)

通期見通し



【売上高 単位:億円】

【経常利益 単位:百万円】



FY21通期見通し

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症（変異株）の拡大や、一部航空機メーカーによる生産調整の公表などもあり、不透明な経営環境が当面継続するものと想定しており、連結会計年度の業績予想に変更はありません。

技術を翼に世界の空へ

 **Jamco**
ALWAYS FLY TOGETHER



Always Fly Together